

人権啓発強調月間に合わせて

8月6日、夏休みふれあい映画祭を文化会館で開催しました。人権に関するアニメを2本上映。親子連れなど約150人が来場し、身近にある人権について、理解を深めていました。



介護予防フォーラム

8月25日、介護予防フォーラムを開催。各地区ボランティア団体の実践報告や長野五輪金メダリストの清水宏保さんの講演がありました。清水さんは自身の経験をもとにした体作りの話をされました。



のじり湖祭を今年も開催

8月31日、のじり湖祭がのじりこびあ野外ステージで開催されました。市内外から約9千人が来場。ステージイベントのほか、地元高校生発案の企画や来場者参加型のイベントなどもありました。



「新こばやし音頭」CD 寄贈

新こばやし音頭の作曲者である小林大介さんから、同曲のCD400枚を市に寄贈いただきました。CDの一部は市内の小・中学校などに配布されました。
※写真は南小6年徳永さん(左)と八幡さん(右)



同社の寄附は市内各小・中学校へのタブレット端末の整備や学校図書に活用されました

(株)ミヤザキの紺綬褒章を伝達

9月4日、(株)ミヤザキが紺綬褒章を授与され、宮原市長が伝達をおこないました。昨年9月の市への教育振興を目的とした多額の寄附が表彰されたもので、山之上道廣代表取締役は「子どもたちのために活用してもらえたことが嬉しい。今後も地元のために頑張りたい」と話しました。



藤原さんが中心となって作成した松山市の高浜地区防災計画は全国でも先進的な優良事例として取り上げられています

防災活動は「地域住民みんなが主役」の意識が大切

9月8日、「小林市防災講演会」を文化会館で開催。各地区の自主防災組織関係者など約300名が参加しました。講演では、愛媛県松山市で自主防災組織の活動をされる藤原政徳さんが、「防災活動は関係者だけではなく、地域住民の意識が向上しなければいけない」と話をされました。

水道事業の安定的な運営のため水道事業経営審議会が答申

8月26日、市水道事業経営審議会答申書伝達式が行われました。同審議会では令和10年度までの新水道事業ビジョンに関する検討が行われ、倉田富夫会長から「このビジョンが計画的に実施されるようお願いいたします」との言葉と答申書が宮原市長へ伝達されました。



宮原市長は「皆さんの意見を参考に、市民インフラの基盤である水道事業の安定的経営に引き続き取り組みます」と話しました

(株)淵上組が子育て支援事業に50万円を寄附

9月3日、(株)淵上組から市の子育て支援事業へ50万円の寄附があり、受納式が行われました。同社が高鍋信用金庫のCSR私募債を利用したもので、淵上鉄一代表取締役は「市の将来を担う子どもたちの未来に夢を託したい。今後も地域の発展に貢献していきたい」と話しました。



CSR私募債とは発行の際に高鍋信用金庫が引き受け手数料の一部を割り引き、その分を原資に寄附をする仕組み



同校からは森之本舞さんもバドミントン女子シングルスで準優勝し同じく九州大会へ出場されます

創部2年目で学校初快挙 バレー部九州大会へ出場

8月26日、小林看護医療専門学校の子バレーボール部が九州大会へ出場することを市長へ報告しました。同部は、7月に行われた「県専修学校各種学校連合会スポーツ大会」において優勝。サークル活動を経て創部して2年目で、同校の部活動として県優勝は初の快挙となりました。



同協議会の前田博俊会長は「春の天候が良く疫病発生が低く、台風の影響も少なかったため上々の出来です」と話していました

味・色・形を総合評価

8月27日、市果樹農業振興推進対策協議会とJAこばやし梨ぶどう生産部会の品評会が開かれました。

【以下結果・優等と金賞のみ・敬称略】
◆豊水の部▼協議会…永迫周一▼JA…種子田健太郎◆ニューピオーネの部▼協議会…永迫周一▼JA…種子田健太郎◆シャインマスカットの部…西ノ村一真